

日本語能力試験Can-do自己評価リスト(JLPT Can-do) 「聞く」

このリストは、「日本語能力試験の各レベルの合格者が、日本語でどんなことができているか」と考えているかを、受験者の自己評価調査の結果に基づいてまとめたものです。

日本語能力試験のシラバス(出題内容)ではありません。また、合格者の日本語能力を保証するものではありません。日本語能力試験が測る日本語能力や出題内容については、「認定の目安」等を参照してください。

このリストは、受験者やまわりの方々が「このレベルの合格者は日本語を使ってどんなことができそうか」というイメージを作るための参考情報としてご活用いただくことができます。

		N1	N2	N3	N4	N5
難	1 政治や経済などについてのテレビのニュースを見て、要点が理解できる。					
	2 最近メディアで話題になっていることについての会話で、だいたいの内容が理解できる。					
	3 フォーマルな場(例: 歓迎会)でのスピーチを聞いて、だいたいの内容が理解できる。					
	4 思いがけない出来事(例: 事故など)についてのアナウンスを聞いてだいたい理解できる。					
	5 仕事や専門に関する問い合わせを聞いて、内容が理解できる。					
	6 関心あるテーマの講義や講演を聞いて、だいたいの内容が理解できる。					
	7 学校や職場の会議で、話の流れが理解できる。					
	8 関心あるテーマの議論や討論で、だいたいの内容が理解できる。					
	9 身近で日常的な内容のテレビ番組(例: 料理、旅行)を見て、だいたいの内容が理解できる。					
	10 身近で日常的な話題(例: 旅行の計画、パーティーの準備)についての話し合いで、話の流れが理解できる。					
易	11 標準的な話し方のテレビドラマや映画を見て、だいたい理解できる。					
	12 店で商品の説明を聞いて、知りたいこと(例: 特徴など)がわかる。					
	13 駅やデパートでのアナウンスを聞いて、だいたい理解できる。					
	14 周りの人との雑談や自由な会話で、だいたいの内容が理解できる。					
	15 簡単な道順や乗り換えについての説明を聞いて、理解できる。					
	16 身近で日常的な話題(例: 趣味、食べ物、週末の予定)についての会話がだいたい理解できる。					
	17 簡単な指示を聞いて、何をすべきか理解できる。					
	18 先生からのお知らせを聞いて、集合時間、場所などがわかる。					
	19 店、郵便局、駅などで、よく使う言葉(例: 「いらっしゃいませ」「〇〇円です」「こちらどうぞ」)を聞いて、理解できる。					
	20 教室で、先生や友達の簡単な自己紹介を聞いて、理解できる。					

※各レベルの合格者が「できる」と考える割合を、4段階で示しています。割合の推計には「合格ライン付近の合格者」のみの回答結果を使用しています。詳しくは冒頭の「リストの作成について」を参照してください。

	25%未満
	25%以上、50%未満
	50%以上、75%未満
	75%以上